

## ユビキタスネット社会の実現に向けた政策懇談会基本政策WG（第4回）議事要旨

### 1 日 時

平成16年6月4日（金） 16時00分から18時00分

### 2 場 所

総務省8F 801会議室

### 3 出席者（敬称略）

#### （1）構成員

村上輝康（座長）、徳田英幸（座長代理）、伊藤泰彦、大西康昭（高橋秀明代理）、高橋秀夫、田邊忠夫、福井省三、村上篤道、山口光雄、渡邊浩之

#### （2）総務省

鈴木政策統括官、松井総務審議官、桜井審議官、吉崎総合政策課長、坂巻情報通信政策課長、黒瀬総合政策課調査官、高地総合政策課課長補佐、今川総合政策課課長補佐

### 4 議 題

冒頭、事務局より「参考資料 経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004（抜粋）」について報告があった。

#### （1）これまでの利用環境WGにおける議論の概要

事務局より「資料1 これまでの利用環境WGにおける議論の概要」について説明があった。

#### （2）u-Japan政策懇中間とりまとめ（案）

事務局より「資料2-1 u-Japan政策懇中間とりまとめ（案）」について説明があり、各構成員より以下の意見が出された。

共通の価値観、問題意識、あるいは趣味については1.の「人と人との結びつき」だけでなく、2.の「心と心が触れ合う」にも関係がある。1.は物理的なコネクションという意味でコネクションあるいは環境とし、価値観や問題意識などは2.に含めて整理したほうがよいのではないかと。また、分類を「コネクティビティ」「コミュニケーション」「クリエイション」など3つのCで整理してはどうか。

著作権の関係だが、市場の活性化のため2次利用の促進などもう少し書き込むべき。

著作権法ではデータ、情報、統計などカバーされていないため、保護の対象にはならない。それらを含んだ書きぶりにする必要がある。

コンテンツの保護と利活用はバランスよく考えていかないと誤解されやすい。

5 ページの 2 番目の「不断の見直し等による政策の実効性の確保」や最後の「新たな市場の失敗など」の部分がどういうことなのかわかりにくい。

地方の自立ということはもっと書くべき。また、国際に関しても同様。

ある特定の技術、特定のライセンスなどに頼るのではなく、オープン性を強調すべき。

パラダイムシフトに対応できるような新しい政策評価の手法を考える必要がある。

政策的支援などを考える際、企業倫理の徹底がなされていることを前提として議論を進めるべき。

3、4 ページと 11、12 ページの関係をすっきり説明したほうがよい。

新しい科学技術をどんどん日本から発信させるためにはどうしたらいいか、ということにも 4 ページで触れておく必要があるのではないか。

課題の解決策については ICT だけで解決できるわけでもない。全て総合的な視点から捉え、その中で ICT の部分はどのようにすればいいのか、考えていく必要がある。

これから 10 年先の日本社会に向けて全体最適と部分最適とのバランスをどうとっていくのか、という方向性を示すべき。

ICT という言葉を使用する場合には ICT と IT 革命との関係、ニュアンスの違いを明確にすべき。

### (3) u - J a p a n の理念の整理例

事務局より「資料 2 - 2 u - J a p a n の理念の整理例」について説明があり、各構成員より以下の意見が出された。

「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」をもう少し前面に押し出した方がよいのではないか。特に「誰でも」は強調すべき。

### (4) コビキタスネット社会の重要ソリューション及び解決可能な課題

事務局より「資料 3 コビキタスネット社会の重要ソリューション(一覧表)」「資料 4 コビキタスネット社会で解決可能な課題(一覧表)」について説明があり、構成員より以下の意見が出された。

「安全・安心な生活環境の実現」のテーマの中に「交通の安全」という要素を入れ、交通

事故の削減も課題として加えて議論を進めて欲しい。交通死亡事故は年間7,000人以上にものぼっており、削減のためにはICTの役割は大きい。但し、自律系だけでは駄目であり、外部との通信なくして事故は減らず、新しいネットワークの導入は不可欠である。

ソリューションを構成する要素技術の中にPLCも加えたほうがよいのではないか。

(5) 今後の検討の方向性について

事務局より「資料5 今後の検討の方向性について」に関して説明があり、各構成員より以下の意見が出された。

ソリューションを構成する要素技術を現在のような端末、プラットフォーム、ネットインフラという枠組みとすると横断的な新しい概念のソフトなどが抜け落ちてしまうのではないか。

(6) その他

各構成員より以下の意見が出された。

要素技術の枠組みであるユビキタスプラットフォームやユビキタス端末の定義やイメージについて明確化していく必要があるのではないか。

決済と同時に課金も非常に重要であるので、それについても取り上げるべき。

以上